

「地域と共に発展するサステナブル経営」を目指します

南都銀行グループの経営計画は、目指すゴールの達成に向け、中間目標を設定するとともに1年ごとのアクションプランを策定し、PDCAサイクルを強化しています。

昨年12月、当初の中間目標である顧客向けサービス業務利益(単体)の早期達成を見込めたことから、新たに2024年度の中間目標を見直し、グループ全体(連結)の目標を再設定しました。

私たちは、さらなる高みを目指します。



なんとミッション



地域を発展させる

チエ・ヒト・カネの提供により、
地域・お客さまの活力を創造する



活力創造人材を生み出す

地域・お客さまにとって「おもしろい」人材を生み出す



収益性を向上させる

地域・お客さまの活力を創造し、
南都銀行グループの収益を極大化する

2024年度

新たな

顧客向けサービス

業務利益^{※1}(連結) **+30億円**

OHR^{※2}(連結) **70%未満**

ROE^{※3}(連結) **4.0%以上**



南都銀行グループの新イメージCMを制作しました

経営計画に掲げる「奈良県GDP増加」に向けた当行グループの主体的な取組をステークホルダーの皆さまに分かりやすく伝えることを目的に制作しました。

「人が働く」「人が住む」「人が訪れる」ことにより、地域が活性化し、GDPが増加していくイメージを表現しています。このCMは、地元テレビ放送局や、当行ホームページ・当行公式YouTubeにて公開しています。

当行公式YouTube <https://youtu.be/LMHdyO2Lcwo>





2029年度

目指すゴール

奈良県GDP(実質県内総生産※6)

約3,500億円増加

(2016年度比+10%)

経営人材※7創出数

350人

ROA(単体)

0.35%以上

中間目標

ROA※4(単体) **0.25%以上**

活力創造に関わる資格※5

保有者数 **1,000人**



※1 本業(貸出・手数料ビジネス)の利益

貸出金平均残高×預貸金回り差+役務取引等利益-営業経費

※2 預金・貸出金・有価証券などの利息収入である「資金利益」、手数料等の収支である「役務取引等利益」、それ以外の業務の収支である「その他業務利益」を合計した利益から、国債等債券損益を控除した利益に対する経費の割合

当期純利益

※3 $ROE = \frac{\text{当期純利益}}{\text{【期首純資産(除く新株予約権) + 期末純資産(除く新株予約権)]} \div 2} \times 100$

コア業務純益

※4 $ROA = \frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産期中平均残高 - 支払承諾見返期中平均残高}} \times 100$

※5 応用情報技術者、中小企業診断士、宅建、FP1級、簿記2級およびそれらと同等以上の資格

※6 県内総生産は、年度終了の約2年半後に発表されるため、本ゴールは2029年中に発表される2026年度までの達成を目指す

※7 地域のお客さまと経営の意思決定をご一緒できる人材